



# News Letter



創刊号

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒540-8508 大阪市中央区森之宮中央1-6-20(株)サクラレパス内 Tel:06-6910-5595、Fax:06-6910-8837  
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

### 大阪日米協会会報誌・発刊によせて



大阪日米協会  
会長 西村 貞一

平素、会員の皆様方には当協会の運営につき格別のご協力を賜り、ありがたく御礼申し上げます。2003年度は両国民の親睦と相互理解・文化の交流に寄与するという目的を念頭に置き、「日本のルーツを探る」のテーマのもとに、行事を行って参りました。多くの会員の方々に参加を頂くことが出来、一定の成果をあげたのではないかと考えております。しかし、もっと活性化する為には、在日米国人の会員数が少ない事や、若い人の参加が少ない事、活動内容が広く会員の方に知ってもらえていない、等々の課題が出てきました。これらを解決し、より多くの人に、より楽しく行事に参加してもらい、そして交流の場を広げていくために、会報誌を発刊することと致しました。2004年度は「日本のルーツを探る」に加えて、アメリカ文化をジャズを中心とした行事で紹介して行こうと考えています。これらの行事が成功するためにも、この会報誌が大きな要素となればと期待しております。会報誌がより充実するためにも、皆様の投稿を始めとし、ご協力、ご支援をお願い申し上げ、発刊のご挨拶とさせていただきます。

### 2004年度理事会・総会・懇親会開催

7月23日、リーガロイヤルホテルで理事会を開催しました。会則に従い西村JASO会長を議長に選出し、議事に入り、新役員選出と会則改訂を総会に附議することを承認しました。理事会の後、総会が開かれ、新役員選出と会則改訂の議案を審議、それぞれ承認されました。8月上旬、会員の皆様に決議書を発送しております。理事会、総会の後、懇親会が始まり、アルトサクソ奏者足立衛氏による両国歌演奏の後、西村会長挨拶、来賓のアルマゾフ総領事挨拶、そして井越将之大阪府助役に乾杯の音頭を頂いて、午後8時過ぎまで立食パーティーで歓談、会員の皆様にお楽しみいただきました。



### 大阪日米協会 役員・理事

#### 会長

西村 貞一

#### 第一副会長

竹中 統一

#### 副会長

カンパネラ・フィリップA

パート・ジュリアンF

ライコク・クリス

松下 正幸

#### 監事

高木 将雄

早川 康

#### 幹事

福永 勝也

#### 理事

フリッペン・トーマスA

福地 茂雄

古市 実

原田 明

幡掛 大輔

細川 益男

稲畑 勝雄

井上 礼之

伊藤 英吉

川上 哲郎

小林 公平

鴻池 一季

森 輝彦

村上 仁志

西田 健一

佐伯 尚考

刺賀 信雄

千 玄室

芝野 博文

柴田 稔

柴田 俊治

武田 國男

田嶋 英雄

辰馬 章夫

鳥井 信吾

佃 孝之

上山 英介

錢高 一善

### スケジュール

2004年 9月10日

Jazz in 神戸 (神戸外国倶楽部)

講演 槌橋 雅啓氏 (映画監督)

演奏 大塚 善章氏、宮本 直介氏、澤崎 至氏

ボーカル 溝口 恵美子氏

10月30日

秋の遠足 (高野山)

世界遺産に登録された高野山に

南海特急「高野号」を利用して行きます。



2004年 11月26日

第44回 昼食講演会 大阪府知事 太田房江氏 (ヒルトンホテル)

2005年 1月21日

新年パーティ (リーガロイヤルホテル)

3月11日

能楽ワークショップ (大阪天満)

4月9日

春の遠足 (京都)

4月26日

ジャズ演奏 米軍空軍太平洋音楽隊 (大阪)





駐大阪・神戸  
米国総領事館  
総領事  
アレクサンダー・  
アルマソフ



## 大阪日米協会会報誌・発行によせて

この度は、JASO News Letterの発行おめでとうございます。大阪日米協会会員の皆さんには、いつもアメリカ総領事館の活動にご協力賜り、ありがとうございます。今年は、日米和親条約が結ばれてから150年の記念すべき年ですが、現在の日米関係が非常に良いことを、大変うれしく思います。ブッシュ大統領、ペーカード大使とも、常に世界における日米関係の重要性を強調していますが、私も関西とアメリカの関係発展のために、今後一層努力したいと思います。最後に、日頃、草の根レベルで日米関係の発展に貢献しておられる、大阪日米協会の皆さんの更なるご発展、ご健勝をお祈りして、JASO News Letter 第一号への私のメッセージとさせていただきます。

## 会員便り



株ホクシン  
代表取締役 北村 寛治

ガジンは「ホクシンの北村はニューヨークカーが作るベーグルは他では作れない。それがホクシン・ベーグル・Kのダイヤモンドである」との記事を載せました。現在、ベーグル・Kのベーグルは東京から博多までのマーケットを持ち、年間約100万人のベーグル愛好者に支持され、ニューヨークの食文化の一端を紹介しております。(問い合わせ: Tel 06-6356-0351)



## 「カルチャー ショック! in US」



武田薬品工業株  
秘書 橋本 紀美

シアトルで学生時代を過ごした私にとって思い出深いのはやはり「マクドナルド」。私の留学初日は何故か「マクドでランチ」というエキサイティングな始まりでした。英語も全くわからない純粋な高校生だった私(勿論!)は、いきなり英語で注文するという大舞台に立たされます。列に並びながら、私の胸の鼓動は、もうどきどき!!「ええい、ハンバーガーぐらい通じるやろ!」と思い、聞き直して注文すると、やはり発音がまづらしく、どうも通じない。哀れに思った店員が、写真付き下書きを持ってきてくれ、とりあえずハンバーガーの注文をクリア。でも、その後も何故か店員は私に語りかけている?「あ、日本ならこういう時、「ポテトも一緒にいかがですか?」やな!」と推測した私は、勇気を振り絞って「ポ、ポテト、プリーズ!」と叫び、瞬間、店員さん爆笑…。もう皆さんならお判りですね。アメリカではマクドナルドのポテトは「フレンチフライ」と言います。私が「ポテト!」と言った時、店員は「ジャガイモ丸ごと一個」が頭に浮かんだそうで、親切にも、「ここはアイダホじゃないので、ポテトは置いてない」と解説してくれました。もう、顔から火が吹き出しました…。ところで最近アメリカでは、監督が1ヵ月マクドナルドで食べ続けるというドキュメンタリー映画「Supersize Me」が話題になっているそうです。結末はわかりませんが、20日間で既に、著しい体重の増加、高血圧、鬱、糖尿の症状が現れているそうです。恐るべしマクドナルド! 皆さんもお気をつけください。

## 大阪市より

大阪市へは、姉妹都市サンフランシスコから毎年、サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会が派遣する高校生2名が来阪します。今年も、同協会主催の作文コンテストに入賞したサンディ・レイさんとガブリエル・ドミンゲスさんが7月19日に大阪に到着、ホームステイをしながら、天神祭船渡御や文楽などを見学、大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会会員とも交流しました。二人は暑さに驚きながらも、好奇心一杯で大阪の夏を過ごされました。両市の姉妹都市提携は2007年に50周年を迎えます。この歴史的な節目に向け、大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会では会員を募集しています。ぜひ、ご参加ください。



連絡先 大阪市姉妹都市交流協議会  
TEL: 06-6772-9670 FAX: 06-6772-9790  
http://www.sistercity.net/SanFrancisco/

## 大相撲海外公演(裸の大使)



カトリナ・ワッツ

日本相撲協会は今年になって、2月韓国、6月中国で海外公演を実施。活発な海外公演を展開しています。(注:海外公演は外国からの招待による場合で、海外巡業は相撲協会から出向く場合を言います)中国への公演は2回目。前回は1973年で31年前です。海外公演にしろ、海外巡業にしろ、外国の皆さんに日本の文化を紹介すること、そして国際的な理解を深めることに大きく貢献しています。相撲力士が裸の大使と呼ばれるのはそういうところから来ています。力士の体格と力と技から生み出す威厳は海外の皆さんの注目を集めています。相撲観戦後、皆さんが相撲の由来と慣習について、更に日本についてもっと知りたいと思われるきっかけを作ることになる訳です。同じように、万里の長城見学や歴史的で文化的な遺跡を訪れている力士を見て、他の日本の人が中国の古代文明に関心を持つことになるのです。相撲の取り組みに対する中国人の観衆が示す反応から、今度は中国人の心の中を洞察できるのです。訪問した国々の関心は、相撲公演の報道によって余計に高まります。その点で相撲は相互理解と親睦の窓を開くのです。



## 会長のひとりごと



先日サンフランシスコに出張した時、当協会の総会懇親会(7月)用のチーズを調達する為、車で1時間位の所にあるソノマに行ってきました。そこではガーリック、チリ、ポテト、胡椒等、色々な種類の味付けチーズを売っていて、種類の多さにびっくり。その中から何とか12種類を選びました。と共に、試食コーナーにあった「フラットブレッド」、これが食べてみるとごま塩味で、とても美味しく、チーズの付けあわせとしてVery Good、「これこそアメリカンテイストだ!」と、一緒に買い求めました。皆様、懇親会会場で召し上がって頂きましたでしょうか? また、お味は如何だったでしょうか? その後、隣の地区のナパバレーにワインを買いに行きました。そこで試飲のワインを楽しんでいたら、チップが必要だと判り大慌て。ボトルを買って飲んだ方が安かったと反省。アメリカと日本のビジネスカルチャーの違いを体験してきました。

## 会員の皆様にお知らせ:

- 8月初旬に2004年度総会決議書と同年度年会費の請求書をお送りしました。
- 2004年度から年会費は次のようになります。  
法人会員: 一口15,000円が20,000円になります。  
個人会員: 2,000円が3,000円となります。  
家族会員: 従来通り1,000円、据え置きです。

## ◆新入会員紹介◆

### 法人会員

#### 株式会社タブチ

取締役社長 田淵 宏政  
本部長 橋本 博己  
本部長 酒井 一夫  
部長 上島 二郎  
部長 増野 茂浩

#### 株式会社南海国際旅行

取締役社長 竹田 信男  
副部長 神出 義次

#### 岸本ビル株式会社

代表取締役 岸本 光正

#### サラヤ株式会社

取締役社長 更家 悠介

### 個人会員

#### Kaila Horiguchi

(豊中市)  
中川 有造 (神戸市)  
蒲池 富美子 (堺市)  
村上 省二 (京都市)  
石川 善一 (京都市)  
三嶋 一嘉 (京田辺市)

### 家族会員

#### 堀口 尚夫

(豊中市)

#### 加藤 世里子

(大阪市)

## 投稿規定

大阪日米協会の会報誌への投稿(寄稿を含む)規定は次の通りです。

- 投稿の原稿は日本語と英語をお願いします。
- 投稿頂いた原稿は返却しません。但し写真やイラストはご指示に従い返却致します。
- 投稿された原稿の選択と原稿の短縮や修正は大阪日米協会の判断にお任せ下さい。
- 投稿される原稿は社会的・文化的・芸術的・国際的ななど、本会の目的に合う内容をお願いします。
- 投稿者の中から抽選で粗品を差し上げます。発送をもって、発表に代えさせていただきます。

## 編集後記

2004年度総会は大阪日米協会の会報誌(News Letter)の発行を決めました。毎偶数月・月末発行です。当協会が企画する色々な行事への参加は「時」「費用」「内容」にどうしても限界があります。News Letterへの参加は寄稿だけでなく、我々が思いもつかない、素晴らしい投稿もあろうかと期待しております。会員便りはそのコーナーです。取材にも参りますので、遠慮なくお声をかけてください。皆様に喜ばれる内容となるよう努力しますので、ご協力をお願い申し上げます。ご意見やお問い合わせは大阪日米協会事務局へお願いします。(事務局)





# News Letter



The first issue

## 大阪日米協会 / JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

1-6-20, Morinomiya Chuo, Chuo-ku, Osaka 540-8508, Japan % SAKURA COLOR PRODUCTS CORP. Tel:06-6910-5595, Fax:06-6910-8837  
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@craypas.co.jp

### To the First Issue of News Letter



Teiichi Nishimura,  
President of JASO

I highly feel grateful for your co-operation extended to JASO. Keeping in mind the aims for promoting friendly relations, mutual understanding and cultural interchange between the people of both countries, we organized various events, especially "to explore the roots of Japan". To enhance our activities, however, we are confronted with having to solve such problems as, the limited members of Americans in the Society, less participation of young people and insufficient information made available to the members about the past activities. To solve these problems, the Annual General Meeting decided to publish a News Letter, in order to generate increased participation towards noteworthy events. And to open and broaden more active interchange of members. In addition to "explore the roots of Japan" events, I also wish to introduce American culture through the events of JAZZ session in the fiscal year of 2004. To bring these successful events, the News Letter will fulfill one of the important roles. For making the News Letter interesting and substantial, I need your support with your contribution. Thank you for your further co-operation to the Society.

### 2004 Annual Directors' Meeting/General Meeting/Reception

On July 23, JASO opened Annual Directors' Meeting at Rihga Royal Hotel. Mr. Nishimura, President of JASO was elected as the chairman of the meeting. After the discussion, Directors' Meeting approved to submit the agenda of election of directors and officers and Publication of JASO News Letter and revision of Article 19. After Directors' Meeting, Annual General Meeting approved all the agendas including election of Directors and Officers as well as the publication of JASO News Letter and revision of Article 19. Followed with the Reception, commencing with the playing of our two national anthems by Mr. Mamoru Adachi on his Alt-Saxophone, subsequented with a welcome speech by the Society President Mr. Nishimura. Mr. Alexander Almasov, Consul General of the United States of America spoke about the relation between Japan and America, followed with the toast by Mr. Masayuki Igoshi, Deputy Mayor of Osaka City. Everyone enjoyed the buffet prepared by Rihga Royal Hotel, with drinks generously provided by Messrs. Suntory and Asahi Brewery.



### Officers and Directors as of July 23, 2004

President	Director		
Nishimura Teiichi	Flippen II, Thomas A	Murakami Hitoshi	Ueyama Hidesuke
Senior Vice President	Fukuchi Shigeo	Nishida Kenichi	Zenitaka Kazuyoshi
Takenaka Toichi	Furuichi Minoru	Saeki Naotaka	
Vice President	Harada Akira	Sasuga Nobuo	
Campanella Philip A	Hatakake Daisuke	Sen Genshitsu	
Burt Julian F	Hosokawa Masuo	Shibano Hirofumi	
Laycock Chris	Inabata Katsuo	Shibata Minoru	
Matsushita Masayuki	Inoue Noriyuki	Shibata Toshiharu	
Treasurer	Itoh Eikichi	Takeda Kunio	
Takagi Masao	Kawakami Tetsuro	Tashima Hideo	
Hayakawa Yasushi	Kobayashi Kohei	Tatsuuma Akio	
Secretary	Konoike Kazusue	Torii Shingo	
Fukunaga Katsuya	Mori Teruhiko	Tsukuda Takayuki	

### Upcoming Events

#### September 10, 2004

##### Jazz in Kobe (KOBÉ CLUB)

Speech Mr. Masahiro Tsuchihashi  
Performers Mr. Zensho Otsuka, Mr. Naosuke Miyamoto, Mr. Itaru Sawasaki,  
Vocal Ms. Emiko Mizoguchi

#### October 30

Autumn Day Trip to Koyasan  
The World Heritage "KOYASAN"  
By Nakai Super Express "KOYA"



#### November 26

Luncheon Seminar By Ms. Fusae Ohta,  
Governor of Osaka Prefecture (Hilton Hotel)

#### January 21, 2005

New Year's Reception (Rihga Royal Hotel)

#### March 11

Noh-gaku Workshop (Osaka)

#### April 9

Spring Day Trip to Kyoto

#### April 26

Jazz Session (Osaka)  
Big Band by the United States Air Force of the Pacific-Asia





Alexander Almasov  
Consul General  
of the United States  
of America  
Osaka-Kobe



It is an honor for me to address you in the first issue of the JASO News Letter and, on behalf of all of us at the Consulate General of the United States Osaka-Kobe, to thank the Japan-America Society of Osaka for your constant support of the activities of the Consulate General. This year marks the 150th anniversary of the establishment of relations between the United States and Japan, and I am glad to say that relations between our two countries have never been better. President Bush and Ambassador Baker have remarked in this anniversary year on the importance of the U.S.-Japan relationship for the entire world, and I also want to continue working to the extent of my abilities to develop the ties -- economic, cultural, educational, social -- between Kansai and the United States.

My thanks to all of you at the Japan-America Society of Osaka for all your many contributions to good relations between our two countries at the grassroots level, and I wish you many more years of successful activity on behalf of the people of Japan and the United States.

## Member's Column



HOKUSHIN  
CORPORATION  
President kenji Kitamura

Bagels were brought to New York through Canada by Jewish immigrants from Eastern Europe, and quickly spread throughout the United States in the early 1900's. The bagel-making recipe was passed from one generation to the next within a family, and it is said that "bagel-making is in the family bloodline." Today, bagels are one of the most popular items at New York style delicatessens. Bagels were first introduced in Japan in 1993 by Hokushin who used a traditional bagel making method to create chewy bagels with a high-density texture. Forbes magazine wrote that Mr. Kitamura, Hokushin President, believes that no one makes a bagel like a New Yorker and that will keep Bagel K in demand. Currently, Hokushin has more than 1 million customers who purchase bagels from Bagel K shops throughout Japan contributing to the introduction of New York's food culture to the Japanese. (For further information : Tel 06-6356-0351)



## Bagels

Bagels were brought to New York through Canada by Jewish immigrants from Eastern Europe, and quickly spread throughout the United States in the early 1900's. The bagel-making recipe was passed from one generation to the next within a family, and it is said that "bagel-making is in the family bloodline." Today, bagels are one of the most popular items at New York style delicatessens. Bagels were first introduced in Japan in 1993 by Hokushin who used a traditional bagel making method to create chewy bagels with a high-density texture. Forbes magazine wrote that Mr. Kitamura, Hokushin President, believes that no one makes a bagel like a New Yorker and that will keep Bagel K in demand. Currently, Hokushin has more than 1 million customers who purchase bagels from Bagel K shops throughout Japan contributing to the introduction of New York's food culture to the Japanese. (For further information : Tel 06-6356-0351)

## Culture Shock in US



Takeda Chemical  
Industries, LTD  
Secretary  
Hiromi Hashimoto

"McDonalds" I cannot recall my memories as an exchange student in Seattle without this word. My very first day had begun excitingly with lunch at McDonalds. I was an unsophisticated high school student with poor English knowledge, so it's quite challenging to order something at American McDonalds, specially in English! Standing in the line, I could not stop my heart beating rapidly. "Ummm, they will understand Hamburger!" I ordered bravely. But unfortunately the staff did not understand my unique sound English. Eventually he brought me a plastic sheet with food pictures so that I succeeded to order my first Hamburger. I was quite satisfied but soon realized he's been asking me something still. I wondered "In Japan, they usually ask us "Potato mo goishshoni ikagadesuka? This must be it!" and answered "Po, Potato, please" Just in front of me, he roared with laughter. In the US, people call potatoes of McDonalds, "French Fries". When I had a word "Potato", he must have visualized a whole chunk of potato. He was kind enough to add, "We don't have potatoes. Not Idaho State." I was flushed with embarrassment. By the way, a documentary movie, called "Supersize me" is getting people's attention in the US, recently. In the film, the director has eaten food only from McDonalds, for a month. I don't know the ending, however, it seems that sudden weight gain, symptoms of hypertension, depression, diabetes etc. have appeared on him within 20 days. Wow... what a power! Everybody, be careful.

## High School Students from San Francisco



Every year, Osaka hosts two high school students from its sister city, San Francisco. This year, Sandy Lay and Gabriel Dominguez, winners of the essay contest organized by the San Francisco - Osaka Sister City Association, arrived in Osaka on July 19. While staying with local families, they went to the Tenjin Festival and the Bunraku Theater, and interacted with members of the Osaka - San Francisco Sister City Association. The heat of the summer did not affect their curiosity and enthusiasm to make the best of the Osaka experience. Osaka and San Francisco will celebrate the 50th anniversary of their sister city ties in 2007. Join the Osaka - San Francisco Sister City Association and take part in this historic relationship!



Those interested should contact:  
Osaka Sister City Network  
TEL: 06-6772 9670 FAX: 06 6772 9790  
<http://www.sisterc.net/SanFrancisco/>



Katrina Watts

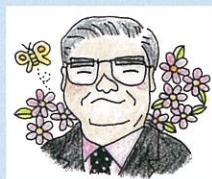
## Overseas Sumo Tour (Naked Ambassadors)

The Japan Sumo Association has been very active this year with two overseas sumo tours, to Korea in February and to China in June. It was the second time for China, the last time was 31 years ago, in 1973. Such tours play an important role in introducing Japanese culture abroad and deepening international understanding, so the rikishi of the Japan Sumo Association are sometimes called "naked ambassadors". Touring abroad, they attract attention for their size, and for their great dignity, for their strength and their skill. After watching sumo, people want to know more about sumo's origins and traditions, and learn more about Japan. At the same time, Japanese people seeing the rikishi at the Great Wall of China and visiting various historical and cultural sites, become more interested in this ancient civilization. Watching the reactions of the Chinese crowd at the sumo matches gives an insight into Chinese character. Interest in countries visited rises while reading or watching reports of the sumo tour. In this way, sumo opens the window to mutual understanding.



## Soliloquy

On the occasion of my last business trip to San Francisco, I visited Sonoma to prepare the American cheese for the JASO reception on July 23. Sonoma is about one hour trip by car from downtown. The location is northwest from Napa in California. I was surprised by so many different kinds of seasoned cheese available, the likes of garlic, chili, potato, pepper, etc. Finally I succeeded in selecting 12 varieties. At the Tasting Corner, I sampled the "Flat Bread" which tasted like Gomashio (blend of salt and sesame seeds), which fit well together with the cheese. Fantastic! That's the American taste! I purchased the "Flat Bread" for serving at our reception. Did you try it? How did you like it? After Sonoma, I proceeded Napa Valley to purchase some different wines. I really enjoyed the wines at the Tasting Corner. After enough tasting, however, I was asked to pay a tip! Why? To my surprise, it was more expensive than what I had paid for a bottle. I realized the big difference of the culture and business in America.



## Announcement to the JASO Members:

1. Early August, JASO Office delivered the document of resolution to all the members, together with Membership Dues for the year of 2004. Please read it carefully.
2. Please be informed that 2004 Annual General Meeting approved to revise the annual dues as follows: for the corporate member, from 15,000 yen per one share to 20,000 yen. And for the individual member from 2,000 yen to 3,000 yen, but no change for the family member, which is 1,000 yen.

## New members

### Corporate Members

<b>TABUCHI CORP</b>	<b>Nankai Travel International Co., Inc.</b>
President Tabuchi Hiromasa	President Takeda Nobuo
Director Hashimoto Hiromi	Manager Kamide Yoshitsugu
Director Sakai Kazuo	<b>SARAYA Co., LTD</b>
Director Ueshima Jiro	President Saraya Yusuke
Director Masuno Shigehiro	

**Kishimoto Building Incorporated Company**  
Chief Executive Officer  
Kishimoto Kosei

### Individual Members

Kaila Horiguchi (Toyonaka)  
Nakagawa Yuzo (Kobe)  
Mishima Kaya (Kyotanabe)  
Kamachi Fumiko (Sakai)  
Murakami Shoji (Kyoto)  
Ishikawa Zenichi (Kyoto)

### Family Members

Horiguchi Takao (Toyonaka)  
Katoh Yoriko (Osaka)

## Contribution rules

### Contribution rules on the JASO News Letter

The following are the contribution rules to the JASO News Letter.

1. We would appreciate it, if you would write your manuscript both in English and Japanese.
2. The contributed manuscript will not be returned to you. However, we will return the photographs and illustrations if you wish.
3. Please understand that the JASO Office will judge the selection of the manuscripts among those submitted and also for editing.
4. The manuscript distributed will be in accordance with the aims of the Society, i.e., social, cultural, artistic and international events.
5. Contributors will be awarded gifts, picked by lottery.

## Notes from JASO News Letter Office

2004 Annual General Meeting decided to issue JASO News Letter at the end of each even-numbered months. Our past experience showed us that the events have not been prepared in the manner like everyone is satisfied with the timing, expenses and locations. We, however, welcome your participation to the News Letters, which will be informative for everyone's expectation. The Member's Column is for such purpose. We are gladly visiting you for interview, if necessary. We will do our utmost effort of editing worthy news letters. Appreciate your co-operation of sending us your opinions, questions, advises, etc. to improve and upgrade the News Letter to the JASO Office. Thank you. (JASO News Letter Office)